

定例記者会見市長挨拶

令和4年11月22日（火）午後3時から 庁議室

記者の皆様には、お忙しいところ定例記者会見にご出席いただき、誠にありがとうございます。また、日ごろから市政に対しまして、ご理解とご協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

今年も残すところ1か月余りとなり、本日が、今年最後の定例記者会見となりました。記者の皆様には、今年一年間大変お世話になりました。この場をお借りいたしまして、御礼を申し上げます。

新型コロナウイルス感染症については、今年の冬は、夏の第7波を上回る感染拡大の恐れに加え、季節性インフルエンザも同時に流行する懸念があります。そのため、千葉県では、発熱外来や電話相談などの対応を強化し、医療体制の充実を図っており、また、本市においても関係機関と協力し、感染症の拡大防止に努めてまいります。

また、感染症対策の大きな柱であるワクチン接種につきましては、新型コロナウイルス感染症が年末年始に流行する傾向にあることから、1・2回目の初回接種が終了した12歳以上の方に対し、現在、流行しているオミクロン株に対応したワクチンの追加接種を、市内の医療機関や集団接種会場で実施しております。私も先週5回目のワクチン追加接種を行いました。オミクロン株対応ワクチンは、従来のワクチンを上回る効果と、今後の変異株にも有効である可能性が期待されています。市では、引き続き、安心・安全そして速やかにワクチン接種が受けいただけるよう万全の体制を整え対応してまいります。

さて、本市の今年1年を振り返りますと、本市の主要観光行事である成田太鼓祭、成田祇園祭、成田伝統芸能まつり、及び成田弦まつりを3年ぶりに感染症対策を徹底して開催し、本市の魅力を日本各地に届けました。関係者の皆様のご支援により、盛会裏に終了することができましたことを、心より感謝申し上げます。また、10月には、市川團十郎白猿襲名奉告参拝が行われ、御練り行

列では、多くの観客が参道に集まり、大いに賑わいました。十三代目 市川團十郎白猿丈には引き続き、「成田市御案内人」として本市の魅力を積極的に発信していただきたいと考えております。

そして、今月 19 日には、本年 1 月に開場した新生成田市場を会場として、3 年ぶりに成田市産業まつりを開催いたしました。当日は天候にも恵まれ、多くの来場客の皆様にご来場いただきました。新生成田市場は、市民の皆様の食の台所として、新鮮な農水産物を取り扱っており、普段からどなたでもご購入ができますので、これを機会に、今後もぜひご利用くださいますようお願いいたします。

また、7 月には、市民の暮らしや事業者の活動を守るために、市独自の支援策として、物価高騰や年金額の減少によって、日々の生活に苦勞されている若者世代や高齢者への商品券の交付、燃料費や飼料価格の高騰、売り上げの減少に見舞われている事業者や農業者への給付金の支給、また、給食費の値上げを防ぐための保育施設への補助、さらには、一般家庭や事業者が負担する下水道使用料などの減免を行うため、補正予算を調製し、臨時議会を招集いたしました。

8 月には、地域経済を活性化するため、市民の皆さまを対象として、市内の飲食店や小売店で利用できる「なりた地域応援プレミアム付商品券」を昨年度に引き続き発行し、好評により 10 万冊が完売となりました。

こうして振り返りますと、コロナ禍で中止となった大きなイベントを 3 年ぶりに開催することができ、成田のまちに、にぎわいが戻ってくるなど、良い方向に向かった 1 年でありました。市としましても、今後もアフターコロナを見据え、感染症に負けない市政運営に取り組んでまいります。

以上、本日の定例記者会見にあたっての挨拶とさせていただきます。